

## 令和7年度 第1回定例庁議 議事報告

開催日時：令和7年4月10日（木）午前9時30分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

### 【進行：政策課長】

#### 1 開会

#### 2 市長あいさつ

新年度を迎え新しい体制となったが、各部局においては、少しずつでもよいので着実に事業を前に進めて行くことを意識し取り組むことを求める。前任者から事業を引き継いだ場合も、それを踏襲するだけにとどまらず、社会情勢に即し、変えるべきところは積極的に変えていくこと。

また、繰り返し伝えていることだが、大切なのはマネジメントである。一人で悩みや不安を抱えていたり、体調を崩していたりしないかなど、登庁時を始め、部下の様子をしっかりと把握するよう各課長に指示すること。部長や課長がそうした意識の下に接していくことで、課長補佐や部下にもマネジメントに臨む意識が広まり、職員全体として自分の職責に対する意識が育まれていくと考える。

重要な事項や大きな局面での判断は、私が決定したり、副市長が指導をしたりするが、基本的に行政の業務における 6 から 7 割の判断は職員が行い、進めていくものだと思っている。仮に首長が変わったとしても、職員が基本的な判断を適切に行うことができる、そのような組織にしていくためにも、人材育成が重要である。部局長は先頭に立ち、職員の模範を示していくこと。

#### 3 協議・報告事項（議長：副市長）

##### (1) 第三次笛吹市総合計画及び第3期笛吹市総合戦略の策定について

（総合政策部）

説明：総合政策部長

### 【説明内容】

資料に沿って説明（政策課長）

【質問意見等】

(副市長)

総合計画と総合戦略を一体で作るという点について、どのような形を想定しているか説明してほしい。

(政策課長)

現時点においては、総合計画と総合戦略は向かうべき方向性を同じくすることから、総合計画実施計画の中に総合戦略を章立てするなどして示すとともに、実施計画に挙げる事業の中に総合戦略に関する事業についても溶け込ませるような形をイメージしている。今後、計画策定支援の受託事業者決定後、事業者からの提案も踏まえた中で検討を進めていく。

(市長)

総合計画と総合戦略は別々に策定していたものを、今回一体化することか。

(政策課長)

そのとおり。

(副市長)

総合計画については全庁一丸となって作るものである。他人事と思わず、各部局においても我が事としてしっかり取り組むこと。

(2) 第2次笛吹市国土強靱化地域計画及びアクションプランの策定について

(総合政策部)

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（政策課長）

【質問意見等】

質問意見なし

(3) 笛吹市の文化施設の在り方に関する検討委員会報告書について

(総合政策部)

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（政策課長）

【質問意見等】

（教育部長）

6月から10月にかけて具体的整備内容の検討を文化財課で行うという説明だが、政策課主導ではなく文化財課が主体となって進めるということか。

（政策課長）

これまでの経過から、おおむねの方針や方向性を決定した後の具体的な整備内容検討については、文化財課が主体となっていただくこととして進んできていると理解している。

（教育長）

関係者の皆様にも様々な意見をお持ちの方がいる。整備の方向性について、どのように理解を得ていくのかは大きな課題であり、協力して進める必要がある。

（総合政策部長）

政策課で方向性を示すが、その後は美術館運営委員会や博物館運営委員会、地域の皆様など御理解を得ながら進めていかなければならない。文化財課と政策課で協力し考えていくものと捉えている。

（副市長）

方針、方向性を示した後、個別の施設における具体的整備内容検討の主体は教育委員会となるが、政策課においても引き続き協力していくこと。

（市長）

市としての考えをしっかりと示しながらも、地域の皆様にも御理解いただけるよう進めたい。教育委員会と政策課が協力して対応していくこと。

(4) 令和7年度予算執行方針について（総合政策部）

説明：総合政策部長

【説明内容】

資料に沿って説明（財政課長）

【質問意見等】

質問意見なし

#### 4 その他

※令和7年度第2回定例会

5月8日（木） 午後1時15分～ 本館3階302会議室

#### 5 閉会

午前10時15分 閉会